

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)万代宇治樋ノ尻店新築工事	階数	地上2F
建設地	宇治市宇治樋ノ尻48番他3筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	480 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	6,120 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年7月3日
敷地面積	3,647 m ²	作成者	東西建築サービス株式会社
建築面積	2,206 m ²	確認日	2013年9月1日
延床面積	4,175 m ²	確認者	東西建築サービス株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: N.A.
③上記+②以外の: #VALU
④上記+: #VALU

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 搬入車両出入口をお客様出入口とは別に設け、設備機器は屋上設備設置スペースに集約して配置。景観・安全性に配慮した計画としました。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 個別空調方式を採用し、空調単位を細かくゾーン別に制御することにより不必要な環境負荷を抑える計画としました。	Q2 サービス性能 売場では比較的ゆったりとした通路を心掛け、身体障がいのある方にも使いやすい店となるよう配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 外壁、屋根等において断熱性の高い工法・資材等を採用しています。
LR1 エネルギー 照明効率の高い器具を採用しています。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器の設置により節水への配慮をした計画としました。	LR3 敷地外環境 交差点に面した敷地であるため、見通しを阻害しないよう配慮するとともに、南側に歩道を確保しました。(歩道は市へ帰属)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される